

水産技術センター試験・研究課題事後評価表

水産技術センター評価委員会

試験・研究課題名：床固工のスリット化による河床勾配復元が環境に与える影響

大課題名：河川湖沼漁業の振興

小課題名：資源管理技術の開発

細目課題名：漁場有効利用調査

担当者名：研究員 加地弘一

評価項目	評価点	指摘事項
1 研究目標の達成度	4.5 / 5	環境への影響は明らかになったが、魚への影響がうまく把握できなかった。
2 成果の有用性 (普及性、波及性)	5 / 5	多数の砂防堰堤が環境を阻害しており、問題は大きい。魚道より効果的で河川の改良にもなる。有用性は高い。
3 研究の発展性	5 / 5	調査結果からは、より高い堰堤への発展応用を望みたい。
4 研究課題選定の妥当性	5 / 5	大きな課題で選定は妥当。山梨は砂防の必要な河川が多く、その環境問題は大きい。
総合評価	5 / 5	課題の必要性が高く、一定の目標を達成しており、有用性・発展性が認められる。

「注」評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

- 他の河川での調査を合わせて、総合的にスリット化の影響を判断する。
- より高い堰堤での環境影響調査を行う。